



鶴嶺中学校だより



学校だより NO9
令和6年11月13日
校長 阿部 知宏

合唱祭の参観とプログラム等へのご協力ありがとうございました。

ドリーム賞「翼をください」I組

3年金賞「証」A組・「YELL」D組 銀賞「友～旅立ちの時～」E組

2年金賞「輝くために」F組 銀賞「心の瞳」A組・「あさがお」C組

1年金賞「怪獣のバラード」A組 銀賞「マイバラード」C組・「思い出がいっぱい」E組

今年度も、茅ヶ崎市民文化会館での合唱祭を実施することができました。保護者の皆様におかれましては、お忙しい中参観に来ていただきまして誠にありがとうございました。

まだまだ課題はあるものの、生徒の皆さんの一生懸命な姿や頑張って練習をしてきた歌声を披露できる合唱祭はとても素晴らしい行事であることを再認識しました。上記のように結果はでてしまいましたが、この合唱祭を通じて生徒の皆さんが成長できたことを称えるとともに、そして、その成長を未来に活かしてもらえることを期待したいと考えます。なお、表彰式のHPへのビデオアップは諸課題への対応が生まれたこともあり、もうしばらくお待ちください。

今年度の学習状況調査の結果と分析

令和6年4月18日（木）に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果が発表され、全国の各学校に調査結果が提示されました。対象は現3年生で、実施教科は国語と数学です。また、生活習慣などの実態を把握するための生徒質問紙による調査も行われました。本調査で実施した国語と数学のテスト結果は、あくまでも学力の一部分です。それでも、これらの結果を踏まえて本校の生徒の傾向を全国と比較しながら分析を行うことは大切なことです。ですから、ここにその結果を簡単ではありますが報告させていただくとともに、今後の教育活動のための資料として活用していきたいと考えております。

今年度も、2教科ともに数値的にはそれなりに良い結果でした。鶴嶺中学校では、ここ数年は少しずつですが得点の傾向が上昇傾向にあり、生徒のみなさんの努力と先生方の授業や生徒との関係性への意識改善が良い影響として現れているのかもしれませんが、更に、質問紙調査（生活アンケート）からも、生徒の皆さんの気持ちや心の状況の改善が見られ、このことが学力にも影響しているように感じます。

いずれにしても、生徒の皆さんは、個人々では色々な課題や悩みなどを抱えていることもあるかと思いますが、学校全体としては、今回の結果や経年変化のデータ等から学校環境が少しずつ良くなってきているように思います。

1. 学力調査結果より

国語… 学習内容がよく理解されていると思われる項目として、「必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることができる」「話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結びつけて自分の考えをまとめることができる」「目的に応じて必要な情報に着目して要約することができる」「表現の効果を考えながら描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫できる」がありました。その一方で「文の成分の順序や照応について理解している」等に関しては課題が残りました。

得点の傾向が良くなった分、良い傾向の項目が増えています。

数学… 学習内容がよく理解されていると思われる項目として、「一次関数について、式とグラフの特徴を関連付けて理解している」「目的に応じて式を変形したりその意味を読み取ったりして、事柄が成り立つことを説明できる」「グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈することができる」がありました。その一方で、「複数の集団のデータの傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明できる」「複数の集団のデータの分布から四分位範囲を比較することができる」等については課題が残りました。

数学についても、得点の傾向が良くなった分、良い傾向の項目が増えています。

2 質問紙調査より ※「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合

1. 朝食を毎日食べていますか → 89.8% (90.7%) ※ () は昨年度の%
2. 内、全く食べない → 1.9% (3.3%)
3. 毎日、同じくらいの時間に寝ていますか → 72.3% (65.2%)
4. 自分にはよいところがあると思いますか → 85.9% (75.6%)
5. 将来の夢や目標を持っていますか → 66.5% (68.4%)
6. いじめは、どんなことがあってもいけないことだと思いますか → 94.2% (96.8%)
7. 人の役に立つ人間になりたいと思いますか → 97.5% (92.4%)
8. 学校に行くのは楽しいと思いますか → 83.0% (69.0%)
9. 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか → 48.9% (48.9%)
10. 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか → 83.5% (75.0%)
11. 先生はあなたの良いところを認めてくれていると思いますか → 90.8% (79.9%)
12. 困りごとや不安がある時に先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか → 75.3% (63.0%)
13. 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか → 89.3% (83.2%)

3 まとめと分析

学力については、今回の学習状況調査の結果のみで評価すべきでないと考えますが、少なくとも得点の傾向がここ数年の経年変化を含めて良くなっていることは、本校の授業を含めた教育環境の状況が少しずつ改善しているのではないかと考えます。

一方、質問用紙による生活アンケート結果については、特に 4. 7. 8. 11. 12. 13. の項目の%がそれなりの高い%となっているとともに、経年変化からも良い傾向がみられることから、生徒の皆さんの心にも変化が生まれてきているのではないかと感じます。

ただし、学校の教育環境を広い視点から見た時には、上記のような良い傾向が見られたとしても、生徒の皆さん一人ひとりに目を向けた時には、必ずや各々の課題や困りごとはあるわけでしょうから、それらについて、教員の丁寧で落ち着いた対応はこれからもとても大切になります。

その意味でも 11. や 12. の%が高まっていることは良い傾向であると考えます。生徒の皆さんに関する 4. 7. 8. の項目の%も高まっていることとの相関も感じられ、このような傾向がこれからも続き、より高められるような学校環境を目指した学校経営を続けていきたいと思えます。

裏面あり (含、表彰関係)

12月とR7年1月における体育館使用部活の土日の活動について

来月の12月より令和7年の1月末まで、体育館のエアコン設置工事が始まる予定です。そのため、その期間の体育館を使用する授業や集会、そして部の活動ができなくなります。(令和7年1月16日(木)の新入生説明会は、工事を中断し例年通り本校の体育館で行う予定です。)

ついては、日頃から体育館を使用している運動部の活動は、他校との合同練習や練習試合を組んだり、土曜日の午前中に限りますが、小学校の体育館を使用させていただいたりしながら対応する予定となっています。

しかしながら、それでも、平日を含む活動日数や活動時間は相当に削られてしまうため、12月と令和7年1月の2カ月の間は、必要に応じて土日両日の休日練習も可としたいと考えております。

ただし、土日両日の活動は次の4つの条件を満たす場合に限定します。

- ①事前の管理職への報告
- ②生徒と保護者の理解
- ③年間を通しての休日練習のバランスへの配慮
- ④平日の休養日とのバランスも考慮

現在、茅ヶ崎市公立中学校の部活動では、原則として平日1日以上並びに休日も1日以上休養日を設けることとなっておりますが、全く体育館が使用できない12月と令和7年1月の2カ月間については、特別な判断が必要であると考えました。何卒、ご理解くださいますようお願いいたします。